

基礎学力部

本年度の取り組み

- ・基礎学力向上を目的として、朝学習（算数タイム、国語タイム、チャレンジタイム）を計画的に実施した。問題は埼玉県学力学習状況調査の結果から分析した学年ごとの課題に合わせて問題を選び、長期休業日に準備した。
- ・学校全体で取り組むことを決め、実施した。
 - 国語 ①短作文づくり・・・一文から二段落構成（条件付き作文）で書けるようにする。
②視写・・・・・・・・説明文のみ実施。
 - 算数 ①計算タイム・・・四則計算を週2～3回、5分間で実施する。
- ・次年度のチャレンジタイムの問題集の検討、決定をした。

成果

- ・国語タイム、算数タイムの問題を揃えて実施することができた。
- ・短作文を繰り返し実施することで、集中して取り組めるようになり、児童が楽しんで短作文づくりができるようになった。
- ・活用タイムの実施により、児童が発展的な問題に取り組む機会を増やすことができた。特に学力が上位の児童が、楽しみながら活用力を身に付けることができた。
- ・来年度の取組を以下のように決定することができた。
 - 1 チャレンジタイムの問題について
全学年同じ問題集を活用していく。
 - 2 来年度の補習教室について
夏休み前半に実施する。
近隣の高校生や中学生に学習ボランティアとして来てもらい、算数の補習教室を実施する。
きめ細やかな指導が行えるよう、対象児童の数を絞ることとする。

課題

- ・活用タイムの時間内に終わらない児童が見られるので、どのように最後まで見届けるか、見届けの方法を検討する必要がある。
- ・学校全体で取り組むことについて、より効果的にするにはどのようにしていくか、考えていく必要がある。